

組合員数108,555人  
支部数 943  
読者数 67,003人  
(連絡先) ☎03(5978)2751 FAX03(5978)2777  
E-mail/honbu@nenkinsha-u.org  
ホームページ/年金者組合と入力し検索して下さい。

(5日現在)



第387号 2022年3月15日(火)

(通巻第586号)

全日本年金者組合中央本部

〒170-0005東京都豊島区南大塚1-60-20天翔大塚駅前ビル  
発行人 杉澤 隆宜 月刊1部100円(組合費を含む)  
昭和57年6月30日第三種郵便物認可



# 笑いと言気届けたい

## 平和と社会的弱者に優しいまなざし

「ねえ、ゴローちゃん、笑うとナチユラルキラー細胞っていうのが活性化して病気に対する抵抗力が高まるんだって」。神奈川県・川崎支部の仲間、腹話術師のしろたにまもるさん(81)は相棒のゴローちゃんに話しかけます。しろたにまもるさんの願いです。

### 腹話術師 しろたにまもるさん

#### 川崎支部 相棒ゴローちゃんと36年

しろたにまもるさんがプロ腹話術師として始めたのは45歳の時、以来公演回数は日本一で4500回を超え



施設を訪問して公演する「しろたにまもるとゴローちゃん」

### 異色の経歴 定年まで日本鋼管で働く

しろたにまもる(本名城谷護)さんは長崎県小浜町の生まれ。町の奨学金で長崎工業高校に進み、日本鋼管に。鶴見造船所で2001年まで船舶技師として働きました。19歳の時、川崎協同劇団(現在の京浜協同劇団)の第一期研究生に。60年安保闘争に参加、労働組合では臨時工解雇差(15年間)、組合活動家(8年間)の3つの裁別・争議をいずれも勝

訴、勝利和解。55歳で年金者組合に加入しました。定年退職日の2000年末、職場ごとの納会には相棒ゴローちゃんと。ゴロー「言っとくけどね、リストラばかりやると地域に愛されなくなるよ」

### 「年金削るな」国会前で抗議

2月15日の年金支給日全国いっせい宣伝行動に。中央本部、首都圏4都府県本部の代表と共闘団体から70人が結集。杉澤委員長が「マクロ経済スライドなど年金削減の仕組みを変えよう」と呼びかけました。



### 機関紙コンクール 第33回 開催について

2022年第33回「年金者しんぶん」機関紙コンクールをつぎの要項により行います。全都道府県本部および支部からの積極的な応募をお願いします。

- ◇対象紙 年間を通じて定期発行している都道府県本部および支部と各女性部の機関紙誌で3月と4月に発行したもの。
- ◇締め切り 4月30日(土) 中央本部必着。
- ◇応募方法 各号とも10部、封書の上に「機関紙コンクール参加」と朱書きを。
- ◇選考基準 中央本部の機関紙コンクール「審査基準」により、最優秀賞、優秀賞、入賞、努力賞を選出する。
- ◇選考委員会 中央本部役員、編集委員から10人程度と日本機関紙協会の代表で構成。
- ◇発表・表彰 6月21、22日開催の第43回中央委員会で発表・表彰。最優秀賞および優秀賞は副賞を進呈する。

ました。プロ腹話術師とユーシました。長崎出身としては故郷に感謝をこめということもあり、被災者の「焼き場の少年」の町「湯まつり」でデビ写真を登壇させ、ゴローちゃんと原爆のむごさ、平和の尊さを語り、笑いと涙と共感の拍手を受けました。

しろたにまもるさんの公演の約30%は無償ボランティアで。東日本大震災では発生1カ月後の宮城県避難所の体育館で激励公演。「1カ月ぶりに笑ったよ」と手を握って離さなかったお年寄りがいました。

しかし、コロナ禍は、しろたにまもるさんとゴローちゃんも直撃。年に150回程度あった腹話術の出演は、この2年間は年に10回程度です。政府からの支援は一昨年、東京演芸協会の紹介で20万円、民商の紹介で20万円。昨年はゼロでした。川崎市からは他の市民団体と要請して、支援金30万円、上演会場費の補助半額(約4万円)の給付を受けました。

「民主主義と平和を危うくする流れに抗える笑いを追求していきたい。時事風刺、世相風刺、原爆、平和、生きがい、高齢者のこと、希望、友情報がえられます。」

中央本部は、午前中は山手線大塚駅前前で宣伝と署名行動、12時15分からは国会議員会館前で「年金下げろな、高齢者医療費負担2倍化反対」、「賃金引き上げ」のこぶしを突き上げました。写真。

中央本部、首都圏4都府県本部の代表と共闘団体から70人が結集。杉澤委員長が「マクロ経済スライドなど年金削減の仕組みを変えよう」と呼びかけました。

### 風雪

「冬の間パートで働いている。早番は朝5時始業のため、4時に起床、5時前に職場に着く。ボイラー稼働など一通り作業して朝食になる。昨夜のうちに朝食、昼食の二食を作ってくれた妻に感謝し食べる。」

△東北の74歳になる仲間からのお便りである。真っ暗な寒さの中、家を出て仕事に向かう姿とお弁当を作る奥さんの姿を思い浮かべ、「お体大切に」の思いがこみ上げた。

▽しかしエライ人は違う。「そんなあまっちょろい気持で支配できるか」。インボイス制度導入で消費税を負担させ、年金はカット。わずかな収入があれば給付金も出さない。資産をつくれなかった自分の責任だから。

▽清掃、ビル管理・警備や交通誘導、介護関連、高齢者が担っている仕事は大変なものが多い。もちろん、それは大きな問題だが、働く高齢者への偏見・蔑視、そして低賃金・劣悪条件押しつけこそ最大の課題だと思う。